

## ブラウンシュヴァイク工科大学サマースクールが災害研・東北の津波被災地を訪問されました(2017/9/13)

テーマ：津波，防災，国際連携  
場所：災害科学国際研究所

平成 29年 9 月中旬にブラウンシュヴァイク工科大学 Agnieszka Strusinska-Correia 博士のサマースクールが行われ，参加者が東北の津波被災地，津波防災に関わる研究機関，政府，自治体等の関係施設を視察されました。13 日の午前中に災害科学国際研究所において共同セミナーを行いました。まず災害リスク研究部門のサッパシー アナワット 准教授とローバー フォルカシニア研究員がそれぞれの分野の活動を紹介しました。次に，東日本大震災の被害実態と教訓，2016 年福島県沖地震津波，世界津波の日，津波避難研究，津波警報などの最近の研究成果を紹介し，多面的な津波研究についての情報交換，これからの共同研究・活動に関する議論なども行いました。その後，サッパシー准教授が仙台市の津波避難タワー，津波被災地である旧荒浜小学校，名取市閑上地区，仙台空港，岩沼市千年希望の丘を案内しました。津波避難タワーにおいて仙台市防災計画課によるタワーの説明を受けた他，旧荒浜小学校，閑上の嵩上げ住宅地，岩沼市千年希望の丘の避難施設等を視察し，東日本大震災からの復興，津波防災研究について意見交換を行いました。団体は後日，三陸リアス式海岸での津波被災地を訪問されました。



当研究所での共同セミナーの様子



仙台市津波避難タワー視察の様子

文責：サッパシー アナワット（災害リスク研究部門）